社会福祉法人 博愛会

特別養護老人ホーム
ハッピーヒルズ（幸せの丘）

令和７年度事業計画書

【法人理念】

［博　愛］

平等に愛すること

ひろく愛すること

【施設理念】

「おかえりなさい」笑顔で迎える

ハッピーヒルズ(幸せの丘)

【行動指針】

１．個人の人権・尊厳を大事にし、入居者・利用者の意思を尊重します。

２．自宅における生活の復帰を常に念頭に置き、自立した日常生活が維持できるよう、残存機能に応じた支援を行います。

３．明るい家庭的な雰囲気をつくり、ご家族や地域との結びつきを大切にした運営を行います。

４．地域の皆様との交流を行い、地域における福祉の拠点としての施設作りを推進します。

Ⅰ　重点目標

１．ユニットケア個別ケアを深化させ、ケアの質を高めます。

（1）ユニットケア・個別ケアの基本をあらためて学び直すため、研修会・勉強会等への参加及び伝達研修を推し進めます。

（2）ユニットリーダーを中心に、各ユニットで自主的・主体的に入居者個々のの心身状況に合わせたサービスを行います。

（3）入居者・利用者の基礎疾患、心身状態を把握し、主治医の指示の下、心身状態の変化に対し適切な医療・看護サービスを提供します。

（4）認知症ケアにおける専門知識や対応技術の習得等、職員個々のスキル向上をめざします。

２．各マネジメントを充実させ、ケアの質を高めます。

（1）入居者の自立と自立意欲を維持し、ＡＤＬ・ＩＡＤＬの維持向上のため、機能訓練指導員を中心主体に、入居者の四肢体幹・生活機能・精神状態を把握し多職種が連携し、**個別リハビリマネジメント**を実施します。

（2）主治医及び協力歯科医師の指示により、栄養士、歯科衛生士を中心に、多職種で**栄養ケアマネジメント、口腔ケアマネジメント**を実施します。

（3）入居者、利用者が常に快適に過ごせるため、各ユニットの居住空間・生活環境を整えるための**“設え”**を工夫します。又入居者、利用者個々の好みや要望に沿ったレクレーション、季節感を感じられる行事等を行うため、**“ユニット費”**を活用します。

３．職員同士の気づきを高め、生産性の向上を目指します。

（1）入居者、利用者やその家族及び職員間においても、常により良いサービスの提供ができる為の接遇(言葉遣い・姿勢等)を心掛け、職員同士の気づきとコミュニケーションができる環境を創ります。

（2）ICT 機器や DX システム、介護ロボット等の導入により、業務上の効率性・合理性を高め、職員の負担軽減を行うことで、業務の生産性の向上をめざします。

４．働きがいのある職場づくりを推進します。

（１）職員一人ひとりが高い目標とスキルをめざした業務の遂行と、それを明確に評価できる人事考課を実施します。

（2）新人職員の育成、職員個々のキャリア形成のため、さらに資格取得をめざせるような、教育・研修体制づくりをめざします。

（3）働き方改革を推進し、子育てや介護等仕事と家庭が両立できる多様な働き方ができる施策を行います。さらに福利厚生の充実に努めます。

（４）施設内研修会・講習会等実施計画(予定)表　　※各委員会企画を含む

no	研修・講習名	参加者氏名	備　考	開催日時
1	接遇マナー、ハラスメントに関する研修会 (各専門職団体主催、講師派遣事業等の利用)	全職員	オンライン研修、ビデオ研修	未定
2	看取り介護関係の研修会（伝達研修も含む）	全職員	オンライン研修、ビデオ研修	未定
3	認知症ケア関係の研修会（伝達研修も含む）	全職員	オンライン研修、ビデオ研修	未定
4	虐待防止・身体拘束廃止、関係研修（伝達研修も含む） ２回以上	全職員	委員会主催 オンライン研修、ビデオ研修	委員会で日程等検討
5	感染症対策(ＢＣＰ)研修会（実践訓練、伝達研修も含む）	全職員	委員会主催 オンライン研修、ビデオ研修	委員会で日程等検討
6	褥瘡予防・口腔ケア等、委員会主催研修会等（伝達研修も含む）	全職員	委員会主催 オンライン研修、ビデオ研修	委員会で日程等検討
7	事故防止・安全対策等研修会（伝達研修も含む）	全職員	委員会主催 オンライン研修、ビデオ研修	委員会で日程等検討
8	衛生管理委員会主催研修会等	全職員	委員会主催 オンライン研修、ビデオ研修	委員会で日程等検討
9	個別ケア・ユニットケア、介護生産性の向上に向けての 研修会・勉強会　（伝達研修も含む）	管理職、相談職 看護職、機能訓練士 介護職、栄養士	委員会主催 オンライン研修、ビデオ研修	未定
10	防災対策(ＢＣＰ)に関する研修会・講習会	全職員	防火管理者・安全衛生推進者主催	運営会で日程等検討

Ⅱ　各業務の計画

１．相談支援・ケアマネジメント業務を充実します。

（1）多職種が連携・協働し円滑に業務遂行できるような体制づくりに努めます。さらに施設外の各種機関や事業所の職員との連携や情報交換を行います。

（2）ケアマネジメント、リハビリ、栄養、口腔ケアの各マネジメントが、主治医及び協力歯科医の指示指導を受け、多職種協同体制で取りくみます。

（3）入居者、利用者及びご家族や、地域住民の方々からの、介護サービスや福祉・医療のサービス全般の様々な相談に対応します。

２．看取り介護（ターミナルケア）を充実します。

（1）２４時間常に対応ができるよう連携を保ち、医療・介護サービスが迅速に提供できる体制とします。

（2）終末期の身体状況の特徴やバイタルサインの変化、メンタルサインの確認を安寧に行うと共に、安楽できる環境を整え、適切なケアと看護が提供できる看取りプランの作成とマネジメントを行います。

（3）ご家族のご希望や心配事等に対し、丁寧に対応しご家族の身体的精神的な負担不安を軽減できるよう支援します。
さらに看取り介護終了後においても適切な援助やフォローを行います。

３．楽しみのある食事の提供を行います。

（1）季節や地域行事に即し、生活に豊かさと満足感を味わえるような食事を提供します。

（2）ニーズ調査・嗜好調査により、入居者が食べたい料理、好きな食材や料理を知り、献立に反映します。

（3）定期的に入居者の身体状況や嚥下状態を把握し、状態にあった食事内容や食事形態で提供できるよう、多職種と協同し栄養マネジメントを実施します。

（4）食中毒等感染症予防を徹底し、安心して食事ができるよう、調理室の清潔保持、衛生管理に努めるとともに、調理職員の健康管理に努めます。

４．サービスの充実と安定した運営を行います。

（1）サービス(施設・短期入所)の稼働率の維持向上により、経営の安定維持に努めます。

①待機者状況の定期的な確認や見直しを行い、退所者発生から新規入居者の入居までの期間(空床期間)の短縮に務めます。

②長期入院者において、入院病院と病状等の確認や家族を含めてのカンファレンスへの参加を行い、早期退院・施設復帰の相談・援助を行います。

（2）各会議の開催

①運営会議（毎月）
管理職員により業務全体の動向の把握、運営上の課題等を協議・決定します。

②全体ミーティング（隔月）
全職員参加により、事業運営に係る報告伝達事項、情報交換、情報の共有の為定期に開催します。又、職員研修の場とします。

③ユニットリーダー会議（毎月）

・各ユニットへの重要事項の伝達・確認・周知を行います。

・ユニットリーダーの資質向上により、ユニット職員の指導支援を促します。

④ユニット会議（毎月）

ユニット内の運営やサービスの向上に向けて検討します。

ユニット内入居者や利用者の生活状況やケアプランを確認し、個別ケアの徹底と職員のスキルアップを図ります。

（3）委員会活動(１０委員会)

各サービスの充実、入居者・利用者の人権や尊重を推進するため、さらに生活全般の様々な分野において､より良いサービスの実践と向上を目的とします。

（4）家族や地域との連携

①家族会を開催し施設サービスの説明、意見交換・交流を行うことにより、施設とご家族との相互協力、相互理解を深めます。又、より良い施設運営の為、ご家族からのご意見等を伺うニーズ調査を実施します。

②施設行事等へ地域住民の参加をすすめます。さらに入居者、利用者が地域との関係や繋がりを維持できるよう、積極的に地域行事への参加を勧めます。

③さまざまなボランティア等の受入れにより、地域の高齢者福祉サービスの拠点となる事をめざします。

④生活困窮状態者の入居で経済的負担の軽減、虐待等緊急やむを得ない措置による入居やショートステイ利用に積極的に対応します。

（5）広報活動とて、ホームページやＳＮＳを活用し入居者、利用者の最新の生活及び活動の状況を発信します。法人経営状態等を情報開示します。

（6）短期入所生活介護（ショートステイ)においては、各居宅介護支援事業所の介護支援専門員との連携と情報交換を十分に行い、地域のニーズに迅速且つ円滑に対応します。又、利用者一人一人の、心身状態や個性・好み、ご意見を尊重したサービスを提供し、ご自宅と変わらない生活を支援します。

（7）各種行事やレクレーションを実施し入居者、利用者及びご家族や地域住民の参加を促進します。

◇令和７年度：施設行事・レクレーション等実施計画表

No	行事名	開催　月	No	行事名	開催　月
1	春の市見学・散策、お花見等ピクニック	４月～６月	6	瀬戸幼稚園交流会、焼き芋会	11月~12月
2	端午の節句、七夕まつり	５月～７月	7	生け花(正月飾り用)	12月
3	家族会	８月~10月	8	お年始あいさつ(お屠蘇)	1月1日
4	敬老会行事、秋祭り	９月~11月	9	初詣、健康祈願祭神事	１月
5	各地区文化行事等への見学	10月~11月	10	節分(豆まき)、だんご作り	２月
6	ドライブレク、ピクニック	10月~12月	11	ひな祭り、春の彼岸(美濃谷)参り	３月

５．安全・安心に生活できる体制を確立します。

（1）事業継続計画(ＢＣＰ)により、自然災害、原子力災害、感染症のまん延等においても入居者・利用者が安心・安全な生活が維持できる体制とします。さらに職員が安心して業務出来る体制・方針・手順等を定め、随時見直しをします。

（2）事業継続計画(ＢＣＰ)、消防防災計画による消防防災訓練を適切に行い、消防署や自治体、地域住民組織や団体との協力支援体制を確立します。

（3）自治体や医療機関、医師会等からの支援体制を確立し、感染症等発症時の初動並びに業務継続体制を整えます。

又、自治体や地域の介護福祉施設と連携維持強化できるよう協定を結び、適切な訓練や研修会を実施します。

（4）警察署や地域の防犯組織との協力体制を構築し防犯体制を整えます。

社会福祉法人　博愛会
特別養護老人ホーム
ハッピーヒルズ
（幸せの丘）